

昇降機業界で活躍する男性の紹介

*Ele-Samurai*



エレ侍 No.4

1. プロフィール

名 前：宮嶋 航平  
 な ま え：みやじま こうへい  
 会 社 名：東芝エレベータ株式会社  
 所 属 部 署：東京支社 建設部  
                     工事技術第三グループ  
 職 種：工事担当  
 入 社 年 度：2014年度



2. 担当業務について

私の業務は、新設工事におけるさまざまな現場においてエレベーターの資材をどのように搬入、施工していくか計画し、安全に実施できるよう現場を管理する工事担当業務です。安全で高品質な昇降機をお客様に引き渡すための重要なセクションだと思っています。責任重大な業務ですが、工事完了後の達成感はひとしおです。

初めて自分が担当した現場では、打合せを上手く進めることができず、また資材搬入等の計画に戸惑い、大変苦労したことは忘れられません。竣工したエレベーターに乗るお客様の笑顔を見た時は、言葉が出ないほどの達成感と安堵に満たされました。

今でもその物件の前を通ると、あの時感じた気持ちを鮮明に思い出します。言葉に表せられない気持ちや達成感が私の思う工事担当業務のやりがいであり、私の財産

です。

工事担当業務を任命された時に掲げた第一目標の「東京五輪に関わるプロジェクトに携わる」に現在携わっています。必ず成功させるために、取り組むことはもちろんですが、今後日本を代表する大型プロジェクトを任せられる人材となり、建設部門を担っていきたいと思います。

3. 趣味など

私の趣味は魚釣りです。

魚釣りは、仕掛けも作れない、エサも触れない、魚も触れないところから始めましたが、堤防や海釣り施設で経験を重ね、少しずつ慣れてきました。現在はより大きな魚を求め、船で沖に出ることが多くなりました。自分で釣ったヒラメやカンパチを見様見真似で捌いた刺身は格別です。

4. 読者へのメッセージ

「義をみてせざるは勇無きなり」

上司に教えていただいた言葉です。今そこに人として行動しなければならぬことがあるのに、その場を見て見ぬふりをするのは、真の勇気がないからであるという意味です。工事現場は常に危険と隣り合わせであり、1つ1つの不安全行動が労働災害につながってしまいます。「なぜあの時見逃してしまったのかと」後悔だけはしないよう、また自分の現場で悲しい災害を絶対に発生させないよう、私は真の勇気をもって現場の安全を管理していきます。

5. 上長のコメント

若手であるが業務に対し情熱があり、首都圏でスキルを積み上げて、将来の建設部門を牽引していく人財と信じています。更なるスキルアップを図り今後の活躍に期待しています。